性能評価用提出図書(別添) 作成要領

(壁用)

注意事項

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書(別添)です。
- 2) 図書のサイズは特に指定されたもの以外は A4 版としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定通りの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち (MS 明朝体・サイズは 10 ポイント、数字・単位は半角文字) とし、図面等は鮮明なものとしてください。(ワープロソフトは原則として MS-WORD を使用してください。)
- 5) 上書き使用する場合は、このページを削除し、作成要領に従って作成してください。 3章は6章と自動リンクしており編集不要です。4章以降の入力をお願いします。 自動リンクは6章入力直後には反映されませんが、「編集」-「すべて選択」の後「F9」を押す と反映されます。

「項目」、「仕様」欄は、元の文字を先に消してしまうとリンクが途切れますので、元の文字の 左上にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除してください。

ハウスプラス住宅保証株式会社 評定室

構造名は打合せ担当者との打ち合わせに基づいて記載してください。不明な場合は一般名称で構いませんが、商品名は記入しないで下さい。

1. 構造名

○○充てん/○○塗装○○表張/○○裏張/○○造外壁

2. 寸法及び形状等

項目	仕 様
壁高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	〇〇以上

3. 材料構成

1)主構成材料

3章は6章と自動リンクしているため、編集作業不要です。 4章構造説明図以降の作成をお願いします。

(寸法単位:mm)

(寸法単位:mm)

ź)

項目	仕 様
社 (荷重支持部材)	柱 ・材質 (1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級財 ・寸法 ○○×○○の断面寸法以上 ・密度 ○○g/cm³以上
2 間柱	 ・材質 木 ・種類 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・寸法 ○○×○○の断面寸法以上 ・間隔 ○○以下
3 外装材	 [1]基材

項目	仕 様
	・塗布量 ○○g/m³以下(有機質量○○g/m³以下)
	[3]かさ比重 〇〇
	[4]形状 [4]-1 外形寸法 ・厚さ ○○以上 ・幅(働き幅) ○○~○○ ・長さ(働き長) ○○~○○
	[4]-2 端部形状 ・重なり ○○以上 ・隙 間 ○○以下
	[4]-3 断面形状 ・最小厚さ ○○以上 ・容積欠損率 ○○~○○
	[5]張方 横張
	[6]留め方 くぎ留め
鱼 断熱材	グラスウール (平成 12 年建設省告示第 1400 号) ・厚さ ○○以上 ・密度 ○○kg/m³以上
5 内装材	せっこうボード (JIS A 6901) ・厚さ 〇〇以上
	・端部形状 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)スクエア (2)テーパ (3)ベベル
⑥ ●○○ (黒丸の 左にカーソルを合わ)	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)
せて入力を始め、入	
力完了後に元の文字	
を削除して下さい)	
7 •00	●認定仕様を記入してください。
8 •00	●認定仕様を記入してください。

項目	仕 様
9 •00	●認定仕様を記入してください。
10 •00	●認定仕様を記入してください。
11 •00	●認定仕様を記入してください。
12 •••	●認定仕様を記入してください。
13 •••	●認定仕様を記入してください。
14 •00	●認定仕様を記入してください。
15 •••	●認定仕様を記入してください。
16 •••	●認定仕様を記入してください。
17 •00	●認定仕様を記入してください。
18 •00	●認定仕様を記入してください。
19 •••	●認定仕様を記入してください。
20 • • •	●認定仕様を記入してください。

	(寸法単位:mm)
項目	仕 様
①シーリング材	・材質 ○○系樹脂 ・使用量 ○○g/m 以上
②透湿防水シート	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○以下 ・使用量 ○○g/m 以下 (有機質量 ○○g/m 以下)
③防水紙	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○以下 ・使用量 ○○g/m以下 (有機質量 ○○g/m以下)
④留付け材	 [1]外装材固定用 ・材質 ○○ ・形状 ○○ ・間隔 ○○以下 [2]外装材留付け金具固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○以上 ・間隔 ○○以下 [3]内装材固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○以上 ・間隔 ○○以下
⑤目地処理材	・材質 ○○系樹脂 ・規格 ○○ ・使用量 ○○g/m 以上
⑥●○○(黒丸の左 にカーソルを合わせ て入力を始め、入力 完了後に元の文字を 削除して下さい)	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)
⑦●○○	●認定仕様を記入してください。
8●○○	●認定仕様を記入してください。

項目	仕 様
9●○○	●認定仕様を記入してください。
	●認定仕様を記入してください。
⊕●○○	●認定仕様を記入してください。
2000	●認定仕様を記入してください。
13●○○	●認定仕様を記入してください。
400	●認定仕様を記入してください。
15●○○	●認定仕様を記入してください。
16●○○	●認定仕様を記入してください。
1700	●認定仕様を記入してください。
18●○○	●認定仕様を記入してください。
19●○○	●認定仕様を記入してください。
20●○○	●認定仕様を記入してください。
21●○○	●認定仕様を記入してください。
200	●認定仕様を記入してください。
3 ●○○	●認定仕様を記入してください。
24●○○	●認定仕様を記入してください。
25●○○	●認定仕様を記入してください。
26●○○	●認定仕様を記入してください。
∅•○○	●認定仕様を記入してください。
8• 00	●認定仕様を記入してください。
29●○○	●認定仕様を記入してください。
30●○○	●認定仕様を記入してください。

4. 構造説明図

(寸法単位:mm)

<透視図>

各種図面(透視図、断面図等)を追加してください。

- ・「2.形状及び寸法等」で記載されている各寸法、及び「3.材料構成」で記載されている各材料がどの部分にどのような方法で使われているか、わかりやすく図示してください。
- ・仕様の構造が複数ある場合は、それぞれの図面を添付してください。
- ・評価を行う上で重要な部分の詳細図を記載してください。
- ・図面中の材料名は「3.構成材料」中の「項目」に合わせてください。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※:本評価内容に含まない

<断面図>

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※:本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

- 1) 〇〇〇の取付け
 - ・取付け方法
 - ・留付け材の種類や間隔
 - ・施工時の注意事項
- 2) □□□の取付け

•

.

.

3) □□□の取付け

.

.

.

4) □□□の取付け

•

.

•

申請される構造の施工手順を記載してください。 また、寸法等は極力記載しないでください。

6. 評価方法

申請される構造の仕様を 仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づ いて記入してください。

- 6-1. 試験体の選定
 - 1. 寸法および形状等

(寸法単位:mm)

項目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
壁高さ	3000	構造計算等により構造安全性が 確かめられた寸法とする	当社が制定した「防耐火性 能評価試験・評価業務方法 書」(以下、「業務方法 書」) に基づく
壁厚	00	〇〇以上	遮熱性上不利となる 最小

2. 材料構成

1) 主構成材料

試験体に選定された構造を記載してください。 数値は全て確定値(「以上」「以下」「±」等は付けない)で 記載してください。また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をその

ままコピーして作成願います。

			一 (竹伝单位:皿)
項目	試験体の	仕 様	試験体の選定理由
记 柱 (荷重支持部 材)	柱・材質	柱 ・材質 (1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)平成 12 年建設省告示第 1452号に規定する構造用製材(JAS)	・非損傷性上同等の性能を 有するため一般的な(2)
主構成材料の部材名の頭文 項目順番号を□で囲った文 用してください。		(2) 平成 13 年国土交通省告示 第 1024 号に規定する構造 用集成材(JAS) (3) 平成 13 年国土交通省告示 第 1024 号に規定する単板 積層材(JAS) (4) 平成 12 年建設省告示第 14 仕様が複数存在する場合。	(*)~(*)のうち、いずれか一仕様
	・寸法 ○○×○○ ・密度 ○○g/cm³ (気乾、実測値)	・ 寸法 とする」と記載してください 以上 ・密度 ○○g/	
2 間柱	・材質 木 (スギ) ・種類 〇〇	・材質 木 ・種類 (1)~(3)のうち 様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材	・仕様と同じ ・非損傷性上同等の性能を 有するため一般的な〇 E理由は、行を揃えて標記してください。
	・寸法 ○○×○○ ・間隔 ○○	・寸法 ○○×○○の断面寸法 以上・間隔 ○○以下	・非損傷性上不利となる最小・非損傷性上不利となる最大

項目	試験体の構造	t 様	試験体の選定理由
3 外装材	[1]基材 窯業系サイディング ・組成(質量%) 〇〇〇 ** 〇〇〇 **	[1] 基材 窯業系サイディング ・組成(質量%) 〇〇〇 ** 〇〇〇 ** 〇〇〇 **	[1]基材・仕様と同じ
	[2]表面塗装	[2]表面塗装 (1)~(3)のうち、いずれか一仕 様とする	[2]表面塗装 発熱量が多く遮熱性上不利 となる(1)
	アクリル系樹脂 ・塗布量 ○○g/m³ (有機質量○○g/m³)		人上同じ選定理由の場合、項目名幅(働き幅)等)を列記してくださ
	[3]かさ比重 ○○ (気乾、実測値) [4]形状 [4]-1 外形寸法 ・厚さ ○○ ・幅(働き幅) ○○ ・長さ(働き長) ○○	[3]かさ比重 ○○ [4]形状 [4]-1 外形寸法 ・厚さ ○○以上 ・幅(働き幅) ○○~○○ ・長さ(働き長) ○○~○○	[3 仕様] [4] [4] ・厚さ、幅(働き幅) 遮熱性上不利となる最小 ・間柱間隔による最小
	[4]-2 端部形状 ・重なり ○○ ・隙 間 ○○	[4]-2 端部形状 ・重なり ○○以上 ・隙 間 ○○以下	[4]-2 ・遮熱性上不利となる最小 ・遮熱性上不利となる最大
	[4]-3 断面形状 ・最小厚さ ○○ ・容積欠損率 ○○	[4]-3 断面形状 ・最小厚さ ○○以上 ・容積欠損率 ○○~○○	[4]-3 ・遮熱性上不利となる最小 ・遮熱性上不利となる最大
	[5]張方 横張	[5]張方 横張	[5] 仕様と同じ
	[6]留め方 くぎ留め	[6]留め方 くぎ留め	[6] 仕様と同じ
4 断熱材	グラスウール	グラスウール (平成 12 年建設省告示第 1400 号)	
	·厚さ 〇〇	・厚さ 〇〇以上	・遮熱性上不利となる最小
	・密度 〇〇kg/m³	・密度 〇〇kg/m³以上	・遮熱性上不利となる最小

項目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
5 内装材	せっこうボード	せっこうボード	
	(JIS A 6901)	(JIS A 6901)	
	·厚さ 〇〇	・厚さ 〇〇以上	・遮熱性上不利となる最小
	・端部形状	・端部形状 (1)~(3)のうち、いずれか一仕 様とする (1)スクエア (2)テーパ	・遮熱性上不利となる(3)
	ベベル	(3)べべル	
6 ●○○ (黒	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
丸の左にカー	てください。	い。(黒丸の左にカーソルを合わ	ください。
ソルを合わせ		せて入力を始め、入力完了後に 元の文字を削除して下さい)	
て入力を始め、			
入力完了後に			
元の文字を削			
除して下さい)			
7 •00	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入して ください。
8 •00	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	V) _o	ください。
9 • • • •	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
10 •00	試験体の構造を記入してください。	■認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入して ください。
11 •00	試験体の構造を記入し	<u>▼ 。</u> ● 認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	٧١°	ください。
12 • • • •	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
13 •00	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。 試験体の構造を記入し	い。●認定仕様を記入してくださ	ください。 試験体選定理由を記入して
14 •00	てください。	۷ ۱۰ و ۱۰	大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪
15 •00	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
16 •00	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
17 •00	てください。 試験体の構造を記入し	い。●認定仕様を記入してくださ	ください。 試験体選定理由を記入して
18 •00	てください。 試験体の構造を記入し		ください。 試験体選定理由を記入して
	てください。	٧١°	ください。
19 • • • •	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入して ください。
20 • 0 0	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	Įγ°.	ください。

シーリング材や留め付け材などの副構成材 料を記載してください。

) 副構成材料

			(1位中位・皿)
項目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
①シーリング 材	・材質 ○○系樹脂・使用量 ○○g/m	・材質 ○○系樹脂 ・使用量 ○○g/m 以上	・仕様と同じ・遮熱性上不利となる最小
②透湿防水シート	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○ ・使用量 ○○g/m (有機質量 ○○g/m)	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○以下 ・使用量 ○○g/m以下 (有機質量 ○○g/m以下)	・仕様と同じ ・厚さ、使用量 遮熱性上不利となる最大
③防水紙	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○ ・使用量 ○○g/m (有機質量 ○○g/m)	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○以下 ・使用量 ○○g/m以下 (有機質量 ○○g/m以下)	・仕様と同じ ・厚さ、使用量 遮熱性上不利となる最大
④留付け材	[1]外装材固定用 ・材質 ○○ ・形状 ○○ ・間隔 ○○ [2]外装材留付け金具固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○×L○ ○ ・間隔 ○○ [3]内装材固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○×L○	[1]外装材固定用 ・材質 ○○ ・形状 ○○ ・間隔 ○○以下 [2]外装材留付け金具固定用く ぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○ 以上 ・間隔 ○○以下 [3]内装材固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○ 以上	[1] ・材質、形状 仕様と同じ ・非損傷性上不利となる最 大 [2] ・仕様と同じ ・非損傷性上不利となる最 ・非損傷性上不利となる最 ・非損傷性上不利となる最 ・・非損傷性上不利となる最 ・・非損傷性上不利となる最 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
⑤目地処理材	・間隔 ○○ ・材質 ○○系樹脂 ・規格 ○○ ・使用量 ○○g/m	・間隔 ○○以下 ・材質 ○○系樹脂 ・規格 ○○ ・使用量 ○○g/m 以上	・非損傷性上不利となる最大 ・材質、規格 仕様と同じ ・遮熱性上不利となる最小
⑥●○○(黒 丸の左にカ ーソルて入 わせて入 たから子 たがった。 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体選定理由を記入してください。

	1	T	(竹伝事位:皿)
項目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
⑦●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
8●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
9 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入してください。
₩•○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入してください。
11000	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入してください。
12●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
®●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
4000	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
\$●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
16●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
∅•○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入して ください。
18●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
19•00	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
20€00	試験体の構造を記入し てください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
21000	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
2000	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
3●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
24€○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	
25●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入して ください。
26 • • •	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してくださ い。	試験体選定理由を記入して ください。
		i.	<u> </u>

項目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
∅•○○	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	٧٠°	ください。
28●○○	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	٧٠°	ください。
29●○○	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	٧٠°	ください。
30●○○	試験体の構造を記入し	●認定仕様を記入してくださ	試験体選定理由を記入して
	てください。	V,	ください。

6-2.試験方法

・試験は、6-1 に示した試験体について、方法書「4.2 準耐火性能試験・評価方法」に基づき〇〇分準耐火性 能試験を実施した。

6-3.試験の結果

[屋外側加熱]

[準耐火性能試験](加熱○○分)

(1) 試験体の最大軸方向収縮量および最大軸方向収縮速度が、次の値以下であった。

最大軸方向収縮量(mm): h/100

最大軸方向収縮速度(mm/分): 3h/1000

h:試験体初期高さ(mm)

- (2) 試験体の裏面温度上昇が規定値(平均で140K以下、最高で180K以下)を満足した。
- (3) 非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (4) 非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (5) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

[屋内側加熱]

[準耐火性能試験](加熱○○分)

(1) 試験体の最大軸方向収縮量および最大軸方向収縮速度が、次の値以下であった。

最大軸方向収縮量(mm): h/100

最大軸方向収縮速度(mm/分): 3h/1000

h:試験体初期高さ(mm)

- (2) 非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (3) 非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (4) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

6-4.評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

7. 申請者連絡先

会社名:所在地:電話:連絡先を記載してください。